



「日韓交流おまつり 2019 in Seoul」で日本の地域の魅力を発信！

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 志水 優太 (鹿児島県派遣)

2005年、日韓国交正常化40年「日韓友情年」を機に始まった日韓交流おまつりは、今年で15回目を迎えました。日韓最大の草の根交流イベントである本イベントは、毎年、両国のさらなる友好の増進を目的に多くの団体が参加し、伝統舞踊などのステージ公演はもちろん、両国の文化を体験できるブース、地域の観光や特産品をPRするブースなどが出展し、会場を盛り上げます。

日韓最大の草の根交流イベント

今年は「おまつり 15年 新たな明日へ」をテーマに、9月1日にソウル特別市江南区のCOEXで開催されました。最近の日韓情勢を受け開催を心配する声もありましたが、「日韓最大の草の根交流イベント」に相応しく、たくさんの来場者に支えられ、例年同様に盛り上がるイベントになりました。

午前10時30分。舞台公演は式前行事のSJC（ソウルジャパンクラブ）合唱団の公演でスタートしました。11時から始まった公式行事では、昨年に続き日韓少女少女合唱団がオープニング公演を行いました。その後も「ジャズの甲子園」と呼ばれるJapan Student Jazz Festivalで2連覇を達成した兵庫県立伊丹高等学校と、ソウル実用音楽高等学校によるジャズの日韓合同公演のほか、伝統舞踊や、ドローイングショー（俳優たちが指に絵の具をつけ、ステージ上のキャンバスに絵を描きあげていくパフォーマンスショー）などの公演が続き、ステージを彩りました。

一方、ブースでは日本から秋田県、鳥取県、岡山市、長崎県、沖縄県など12の地方自治体およびその関係機関が出展し、自治体PRはもちろんのこと、ゆるキャラによるパフォーマンスや、日本酒の試飲や特産品の試食、賞品を用意した体験ゲームやお楽しみ抽選会など、多種多様なイベントを実施して来場者を楽しませました。



庄巻の舞台パフォーマンス（西馬音内盆踊り）



長崎県ブースでPR支援をするクリアソウル事務所職員（右）



盛況の地方自治体ブース

また、昨年に引き続き釜山文化財団も出展し、長崎県ブースと共同でスタンプラリーの実施や、朝鮮通信使時代の伝統衣装を試着できるイベントを実施するなど、朝鮮通信使のPRに取り組んでいました。

これら地方自治体や企業のブースのほか、着物や浴衣等の試着、日韓両国の伝統遊びなどを体験できるブースが出展し、来場者は着物や浴衣、チマチョゴリを着ての記念写真撮影などを楽しみました。

さらには、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会も初めておまつりに出展し、アジアで初めて開催される世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会をPRしていました。

なお、これらブースの出展に当たっては、クレアソウル事務所が取りまとめの役割を担いました。

クレアブースの取り組み

クレアソウル事務所のブースでは、韓国の方たちに、日本の自治体に関心を持っていただけるよう、パンフレットやポスター、PR映像を使った広報のほか、地方の特産品が当たる抽選会やクイズを通じて日本全国の自

治体PRを展開しました。多くの方に参加していただいたクイズイベントでは、正解者が多く日本への関心の高さがうかがえました。抽選会については、日本の地域をSNSを通して紹介する「トランドラン」（韓国語で「小さい声で仲良く話す様子」を表す言葉（도란도란）にFacebook または Instagram で登録すると参加できるというイベントとしました。1等賞が日本へのペア航空券であることもあり、多くの方に参加いただけました。抽選の開始時刻が近づくとたくさんの人による行列ができるほどでした。

また、日本の文化をより深く知っていただくために、招き猫の絵付け体験を行いました。体験参加者は、真っ白な招き猫に思い思いの絵付けを行い、完成した招き猫に満足げな様子でした。招き猫の手の挙げ方や色によってそれぞれ異なる意味を持っていることを知った参加者からは、「大変興味深い」、「他の形の招き猫はないのか」といった声も聞かれました。

たくさん自治体パンフレットを配布し、広報を行いました。おまつりが終わるころにはすっかりパンフレットがなくなるほどの盛況ぶりでした。



日本の地域に関するクイズイベント



招き猫の絵付け体験に熱中する参加者たち



何が当たるかな…?



クレアブース招き猫絵付け体験参加者が作った招き猫

JET プログラムがつなぐ 日韓の地域間交流

日本の自治体や学校などにおいて外国語指導や国際交流業務で活躍する海外の青年を受け入れる「JET プログラム」は、設立から30年以上が経過し、韓国からも多くの若者たちが参加しています。今年も含めた33年間の参加延べ人数は、75か国から7万人以上、うち韓国からは470人以上にのぼります。

また、韓国では、JET 経験者で構成するJETAAの韓国支部が、日韓の文化交流イベントやJET プログラムに関する説明会を実施するなど、年間を通して活動を行っています。

今回の日韓交流おまつりでは、クリアブースにJET プログラムに関するコーナーを設け、JET 経験者4人が、活動内容を紹介する写真が掲載されたパネルで説明したほか、自身の業務や日常生活に関する体験談を交えながら来場者にJET プログラムの内容を紹介しました。ブースを訪れた人々からはJET の業務内容や選考に向けた対策、日本での生活のコツなどに関する質問が多数寄せられ、真剣な表情で説明を聞いていました。JET プログラムは、まさに韓国を含む海外と日本との地域間交流の懸け橋。日韓交流おまつりは、そのようなJET プログラムの役割について、韓国の多くの若者たちに知っていただく大変良い機会となりました。



未来のJET 参加者へ、JETAA からプログラムについて説明

おまつり 15年 新たな明日へ

閉幕前には、日韓アーティストによる舞台公演が行われました。J-POP からは The Super Ball が、K-POP からはネイチャー（Nature）が出演し、会場の皆さんを大いに盛り上げ、今年の日韓交流おまつりは幕を下ろしました。

日韓関係が難しい局面での日韓交流おまつり開催だったこともあり、ブースを出展した日本の自治体担当者からは、「会場に来るまでは少し不安もあったが、来てみると予想以上に多くの韓国の方にブースへ足を運んでいただき、今回の活動が韓国での自治体の知名度向上につながった」という声や、「これまで行ってきたPR と異なる客層にPR できた」といった感想も寄せられました。

今年の日韓交流おまつりが、これまでの両国の歴史を振り返りつつ、この先の新たな明日へ向けて歩みを進めていく良いきっかけとなることを祈るばかりです。

クリアソウル事務所では、今後も、さまざまな事業を通して日本の自治体の魅力発信と日韓の地域間交流をサポートする取り組みを推進して参ります。

日本の自治体の皆さん、来年は是非、日韓交流おまつりにブースを出展してみませんか？



スーパーボールすくい体験をする韓国の子どもたち

- 「日韓交流おまつり 2019 in Seoul」公式サイト
<http://omatsuri.kr/?lang=jp>
- クリアソウル事務所ホームページ「日韓交流おまつり」
<http://www.clair.or.kr/appeal/omatsuri/omatsuri.asp>